

「文部科学省 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」
医療人類学とバーチャル教育を活用した屋根瓦式地域医療教育（濃尾+A）
シンポジウム
式次第

日時:令和6年2月5日(月)16:30~18:00

場所:名古屋大学医学部 基礎研究棟4階 第4講義室

座長:岐阜大学附属地域医療医学センター長 牛越博昭

岐阜大学医学教育開発研究センター長 西城卓也

1. 開会の辞

名古屋大学大学院医学系研究科長 木村宏

2. 本事業の取り組み発表 「岐阜大学でのバーチャル教育の取り組みについて」

岐阜大学医学部附属地域医療医学センター 特任助教 久保田伊代

3. 基調講演 「Reimagining Medical Education in the 21st Century」

～バーチャル教育が切り拓く新たな医学教育～

Haru Okuda MD,FACEP,FSSH

CEO & Executive Director, HPCC CALMS, AVP,

USF Health OPEP Immediate Past-President,

Society for Simulation in Healthcare (SSH)

4. 閉会の辞

岐阜大学大学院医学系研究科長 山口瞬